四国

情報提供は支局または中央会まで

四国支局

〒790－0006
松山市南堀端2－3
ＪＡ愛媛中央会内
☎089(948)5666
ファクス 089(933)3934
メール shikoku-h@agrinews.co.jp

徳島中央会 ☎088(634)2338
ＪＡ香川県 ☎087(825)1233
愛媛中央会 ☎089(948)5611
ＪＡ高知県 ☎088(802)6776

今日の天気

◯の内 降水確率(%)
朝◯ 午前 午後 夜半

徳島				
徳島	50	50	20	27度 22度
日和佐	60	60	30	28度 22度
池田	50	50	20	28度 21度
最高気温／最低気温				
香川				
高松	50	20	10	28度 22度
多度津	50	20	10	28度 22度
東かがわ	50	20	10	27度 22度
愛媛				
松山	40	10	0	29度 23度
宇和島	40	10	10	28度 21度
新居浜	30	10	0	29度 23度
高知				
高知	50	30	20	29度 23度
室戸岬	40	50	40	27度 23度
清水	20	20	0	30度 24度

特殊LED光 シャイン生育改善

徳島文理大 実証実験 青色光で糖度上昇

さぬき市 池添浩子さん園地

【かがわ】徳島文理大学理工学部が開発した特殊発光ダイオード（LED）光は、植物に照射することで糖度が高まることが確認されている。色ごとの効果も確認されており、さぬき市の池添浩子さん（61）のブドウ畑での実証実験では、緑色から青色に切り替えた結果、樹勢が弱っていたシャインマスカットの木でも果実の生育や糖度の改善が見られた。

LED光を照射したシャインマスカットを観察する前田講師㊧と池添さん（香川県さぬき市で）

特殊LED光は、レタスを使った基礎実験で収穫量が蛍光灯の最大2倍に達し、栄養価や食味の向上も確認されている。装置は手に入りやすい部品で作れるシンプルな設計で、安価かつ設置も容易、消費電力が少なく、ランニングコストが低い点も特徴だ。

池添さんは数年前から試験に協力しており、「糖度の上昇を実感している」と話す。同大の前田淳史講師は「夜間、月明かりほどのパルス光を当てると、植物は光不足を補おうとクロロフィルを増やす」と説明。1秒間に100万回点滅する光はその作用を刺激し、グルコース（ブドウ糖）生成を2倍に高めるとみて考えられる。高地トレーニングに例えられる現象だという。

この技術は、大豆や米、イチゴなど幅広い植物に応用され、アオサノリの実験では青色光の有効性も確認された。池添さんから「弱っていた木があるとは思えない」と驚く。収穫時期には、パート1人を採用しており、つるの管理を行った。

照射対象は園地の端の株で、6月上旬から、午後6時～深夜2時に、下から光を当てた。これまで粒が不ぞろいで房は300g止まり、糖度は8月中旬のようやく15ほどだった。今年は粒がそろい、房は800g超に、18以上に達するものもあった。

前田講師は「想像以上の成果」としながらも課題を指摘する。すぐ隣の「ピオーネ」では、青色光を当てた部分の果実は肥大や糖度の上昇が順調だった一方で、色づきは緑色光の方が効果を示したという。「目的によって使い分けが必要。今後の研究課題にしたい」と話す。

手前を緑色、奥を青色の特殊LED光を当てた巨峰（香川県さぬき市で池添さん提供）

新米 味わって

JAえひめ南 「にじのきらめき」試食販売

【愛媛・みなみ】JAえひめ南営農部は9月下旬、宇和島市の「道の駅 三瓶」で、農運営の特産品センターみなみくんで、新米「にじのきらめき」の試食販売を行った。試食には約500人が参加し、アンケートの回答者の中から、抽選で30人に5キロ袋をプレゼントする企画も行った。

「にじのきらめき」を試食する来場者（愛媛県宇和島市で）

「にじのきらめき」は、高温耐性や耐倒伏性に優れた品種で、同JAは2025年度から本格的に導入した。来場者に新米を味わってもらい、QRコードを利用したアンケートに協力を呼びかけた。

試食した女性は「甘味とふっくらした食感がとてもおいしかった」と述べた。「粒がしっかりして、家族にも食べさせたい」という声も聞かれ、好評だった。

JAは管内の稲作農家を対象に「にじのきらめき」の作付け調査をしている。25年度は400ヘクタールを目標としたが、調査から目標を上回る見込みだ。今後も「できるだけ多く」（JAえひめ南）の品種が、生産拡大と消費者へのPRに力を入れたい」と話した。

花いけバトル 高校生体験授業

JA高知県幡多地区

【高知・幡多地区】県立清水高校は9月中旬、「高校生花いけバトル」の体験授業を行った。県マーケティング戦略課が、県内産の花に関心を持ってもらおうと主催し、JA高知県幡多地区も協力した。同校3年生7人が参加し、土佐市で金子生花店を営む濱田遼也さんが講師を務めた。

自由に花を生けるお手本（高知県土佐清水市で）

「大きな枝や流木の他、県内産のグロリオサ、トルコギキョウ、ブルースターやカスミソウなど約30種類を準備し、『花を生ける』のは初めて」という生徒らに、濱田さんがはさみを使う時の向き、茎の切り方や花いけバトルのルールを説明した。

その後、本番さながらに開始。大きなつぼに、思い思いの花を自由に生けた。生徒らは「5分間があっという間。考える時間がなく難しかったけれど、楽しめた」と話した。

濱田さんは「ゴングが鳴るまで諦めないこと。いろいろとチャレンジして、一過性でなく続けてほしい」と話した。

試食に3銘柄 売れ行き好調

JA松山市

【愛媛・まつやま】JA松山市は9月下旬の2日間、松山市原清流米「ひめの雫」の3種類を提供、「にじのきらめき」が最初になった。初日の米の売り上げは73点で約52万円と、過去の1日当たり最高額を更新。消費者の米への関心の高まりを示した。

「にじのきらめき」を試食する来場者（松山市で）

橋渠店長は「新米を求める来場者が例年以上に多かった。農産物が高騰する中、安全・安心な地元産の米や野菜を手に取ってもらえることに意義がある。今後も地元産の魅力を広く伝えていきたい」と話した。

まりを示した。

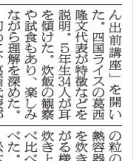
米の試食販売は、来年度から同JAで本格的に導入する「にじのきらめき」と久万高原清流米「コシヒカリ」、愛媛県のブランド米「ひめの雫」の3銘柄を提供、「にじのきらめき」が最初になった。初日の米の売り上げは73点で約52万円と、過去の1日当たり最高額を更新。消費者の米への関心の高まりを示した。

橋渠店長は「新米を求める来場者が例年以上に多かった。農産物が高騰する中、安全・安心な地元産の米や野菜を手に取ってもらえることに意義がある。今後も地元産の魅力を広く伝えていきたい」と話した。

「おいでまい」児童に出前講座

香川県

【かがわ】香川県は9月中旬、三木町立百山小学校で県オリジナル水稲「おいでまい」をテーマに「うまいもの」の粒の違いを比較、耐熱容器を使って、両米隆元代表が特徴などを説明。5年生34人が耳を傾けた。炊飯の観察や試食もあり、楽しみながら理解を深めた。



「おいでまい」が炊ける様子を観察する児童（香川県三木町で）

初めに、葛西代表が米の栄養や品種をはじめ、栽培、流通、保存方法や「おいでまい」の特徴などを解説。児童らは「どうして香川県だけで作られているのですか」などと積極的に発言していた。

次に、「コシヒカリ」と「おいでまい」

「にじのきらめき」を試食する来場者（松山市で）

んだ出前講座」を開いた。四国ライスの葛西隆元代表が特徴などを説明。5年生34人が耳を傾けた。炊飯の観察や試食もあり、楽しみながら理解を深めた。

初めに、葛西代表が米の栄養や品種をはじめ、栽培、流通、保存方法や「おいでまい」の特徴などを解説。児童らは「どうして香川県だけで作られているのですか」などと積極的に発言していた。

次に、「コシヒカリ」と「おいでまい」

葛西代表は「価格はかりが注目されがちだが、味や栄養価など、魅力が伝われば」と期待を込めた。

生粋人（いきびと）

新しい担い手たち

就農への道

徳島県美波町 東浦 誠也さん（32）、真央さん（33）

キュウリ

徳島県美波町の東浦誠也さん（32）、真央さん（33）夫妻は、新規就農して3年目の期待の若手農家だ。誠也さんは、県内の大手メーカーに勤務していた頃、将来は誰にも縛られない個人事業主になりたいと考えていた。祖父が稲作農家をしていたこともあって、以前から興味があった農業に挑戦、旧ＪＡかいふと海部郡が開講した「海部きゅうり塾」で1年間の実践研修を受け、2023年に独立。「東浦農園」を開業した。

家族　長女（8）、長男（6）の4人家族。

一層の高品質栽培へ

キュウリを収穫する東浦さん夫妻（徳島県美波町で）

私の経営

ハウス18棟で、冬から春にかけて出荷する促成キュウリを手がける。植え付けは10月から、11月から収穫が始まる。8月末まで収穫を続け、7月からは次作の準備を始める。つる下ろし栽培を採用しており、つるの管理を行う。誘引作業と病害虫対策には、日々気を使っている。

分からないことがあれば、研修でお世話になった先輩農家のアドバイスを基に「より品質の高いキュウリ作りに励んでいく」と意気込む。

夢

来年中にハウスの増設を予定している。栽培面積と出荷量、同じ地域のキュウリ農家を増やし、産地を守り続けていけるようにこれからも家族一丸となって頑張っていきたい。

（徳島県＝宮本拓実特別通信員）

履い毎日収穫作業に明け暮れている。キュウリは、成長が早く1日で規格外や曲がるなど多くの、試行錯誤しながら夫婦で協力して収穫作業に当たっている。

わたしの一言

仕事と子育てを両立しながらの毎日は大変だが、充実している。子どもたちが農作業を手伝ってくれる時はうれしいし、助かっている。

廃棄に待った！劣化バッテリー自動再生機！

電極板に付着したサルフェーションを除去し、最高状態にまで回復させて充電できる！この1台で交換経費も削減！

申込番号 B1775
■通話料無料のフリーダイヤル（午前9時～午後9時／年中無休）
0120-55-9920
■FAXは24時間受付
03-3543-8884

「春と秋しか農機を使わないので、バッテリーが使えなくなっていましたがセレクト式自動パルス充電機のおかげでバッテリーが結晶かと思ったらまた使えるようになりました。再生できて助かっています。」

バッテリー代も大助かり！我が家の必需品！
愛知県 服部さん

商品番号 61990001
セレクト式自動パルス充電機
税込 24,200円（送料1,320円）

※バッテリーの状態によって再生できない場合もあります。

●本体サイズ:約27.8×15×20cm●重さ約2.1kg●入力電圧:AC100V 50/60Hz 450W●定格出力DC12V/25A（充電時最大電流:DC24V/12A）充電時最大電流:35A（セルスタート時約瞬時値）●適合バッテリー電圧:DC12V-24V（開放型・密閉型・AGM・GS鉛バッテリ）●適合バッテリー容量:4～176Ah●充電方式:定電流定電圧/オート充電方式●寸法:約

●商品のお届けはご注文から1週間前後。●北海道・沖縄・離島などへは別途送料をいただきます。●支払方法は代金引換（代引手数料無料。配達時カード払いも可）または NP後払いWebで（コンビニ・郵便局・銀行振込※実費と別金額55,000円未満※事前審査あり）。●返品は未使用に限り、商品到着後8日以内（送料お客様負担）。●お預かりしたお客様の個人情報は、商品発送、代金決済、アフターサービス、新商品・サービスに関する お知らせ以外には利用致しません。

〒 104-0061
東京都中央区銀座7-17-2～7F
株式会社ライフアドシステム 日農係

●商品番号
●商品名
●数量
●支払方法（代引/NP）
●〒・住所
●お名前（フリガナ）
●電話番号
●ご覧の新聞名
●申込番号B1775

※PC版はWebとは（個人はコンビニ・郵便局・銀行）
請求書は商品に同封されていると思ってください。
※ポス・施設は（代引注文が場合請求書は商品に同封されず、購入者様お渡しいたします。商品代金のお支払はコンビニ（郵便局）銀行で可能です。請求書は営業事業に従って取引日から60日以内にお支払ください。
●手数料－コンビニは無料。郵便局・銀行振込は本書のご負担がかかります。
●ご注意－現ないに（注文には、株式会社ネットプロテクションズの提供するNP後払いwebサービスの適用され、サービスの範囲内で個人情報を提供し、代金後様を請求します。この利用規定書は累計残高で55,000円（税込）以下。NP後払いサービスご利用分も合算されます。）
※注文情報登録時に購入者様から指摘書を行っております。書面が遅かい場合は、誠ってお手数にて連絡いたします。ご了承ください。
※ご利用者が未成年の場合、法定代理人の利用同意を得てご利用ください。

本店 楽天店 Yahoo!店 auPAY店

身近な優れものショップ midikana
株式会社ライフアドシステム
〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-2～7F
TEL.03-3543-0041（代）

Copyright(C) THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS.